

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

### 1 目指す姿と数値目標

#### 経営理念

先端技術の提供とグローバルなパートナーシップを通じて、顧客・社会の現在と、ひとつ先の未来に貢献

### 2 中長期の経営戦略

#### 1. 国内事業の成長強化

生成AIサーバービジネス開拓と車載ビジネス販売体制強化。トータルソリューション提案で競争力を確保

#### 2. 海外展開の加速

グローバル体制で新規顧客・商材開拓。新興国向けモバイル端末・デジタル家電販売強化。サーバー・ストレージおよび車載事業深耕

#### 3. 提案力強化と顧客満足向上

サムスングループ商材中心に商品・機能幅を広げ、技術・品質対応体制構築で提案力強化と新規顧客開拓

#### 4. グローバルサポート体制構築

海外拠点・物流機能活用で国内外サポート強化。顧客視点で最適ソリューション提供し関係強化・取引拡大

### 3 対処すべき課題

#### ① 経営環境への対応

- ・急速な技術革新・グローバル化による産業構造変化への対応
- ・米中貿易摩擦・ウクライナ問題など地政学的リスク対応
- ・市場環境変化への迅速な対応と持続可能な社会実現への貢献

#### ② リスク管理と内部体制強化

- ・新規・既存ビジネスにおけるリスク認識・感度向上と徹底したPDCA実行
- ・連結業績管理のための社内インフラ整備
- ・コンプライアンス・リスクマネジメント・ガバナンス体制の強化

#### ③ ESG・サステナビリティ推進

- ・環境：低消費電力半導体供給・車載電動化技術による低炭素社会実現
- ・社会：ダイバーシティ推進・人権尊重・サプライチェーン人権リスク管理
- ・ガバナンス：企業活動の根幹として法令遵守とコンプライアンス強化

#### 面接で使えるポイント

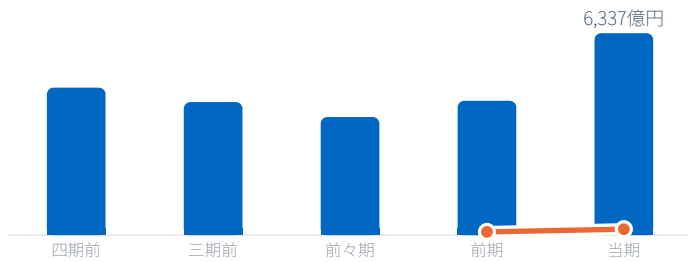
- ・中期経営計画2023年4月～2026年3月で、生成AIサーバー・車載事業など成長分野への注力を推進中
- ・サムスングループとの強み活かし、豊田通商グループとのシナジーで顧客に密着したサービス提供
- ・気候変動WG・人的資本WG・人権WGの3つのワーキンググループで、マテリアリティに基づくサステナビリティ推進

# 株式会社トーマンデバイス

卸売業 | プライム（内国株式） | 決算期 3月31日 | 連結…

証券コード 2737

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高  
6,337億円

営業利益率  
3.0%

財務健康度  
40点 / 100点

要するに  
半導体および電子部品の販売を主力事業とする卸売企業

主力事業・セグメント

- ・ OVERSEAS 74.8%
- ・ JAPAN 25.2%

強み・特徴（公開データから）

- ・ 連結売上高6,337億円の事業規模
- ・ 将来性評価は晴れ
- ・ 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 晴れ / 就活偏差値 65.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収  
967万円

卸売業内 30位/282社

平均年齢  
46.9歳

卸売業内 33位/283社

平均勤続  
12.5年

卸売業内 178位/282社

女性管理職  
7.4%

卸売業内 107位/209社

男性育休  
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

株式会社トーマンデバイス 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

